

北海道起業家甲子園2020 出場チーム 発表順

	学校名※	チーム名	プラン名	プラン概要
1	室蘭工業大学	チームうみねこパン	地域課題をエンタメで乗り越えよう 「脱出ゲーム～船長からの挑戦状～」	室蘭市と八戸市を結ぶ船内を舞台に、海上のためネット利用不可かつ閉鎖空間という特性を活かし、就航地の魅力を伝える脱出ゲームを提供するサービス。
2	北海道科学大学	ASTERISK (あすてりすく)	散歩証明モジュール -ペットウォークレコード-	ペットの首輪にモジュールを搭載して飼い主の散歩証明と、ペットの健康管理を促します。これにより、周期的なペットの散歩・健康管理などを提供するサービス
3	北海道大学大学院	チームデジコン	MA*-Wall (マスターウォール)	ボルダリングウォールのホールドの配置の決定や、登るコースを作成可能な「アプリケーション」のパッケージを提供するサービス。
4	北海道科学大学	Observer (おぶざーばー)	かつぼんフィールドイング	新型コロナウイルスの影響で減少した温泉地への集客を目標に、実際に温泉地に行かなくてもその温泉地に行った気になれる体験を提供するサービスです。
5	札幌日本大学高等学校	北海道うち守る隊	音波で空き家診断 ～北海道の家は地域で見守る、老後の健康増進にも～	木材の内部を状況を判断する音波診断機を用い、空き家の状態を診断し、行政に情報を提供するサービス。
6	酪農学園大学	株式会社TRIBE (とらいぶ)	FOOD-TRIBE (フードトライブ)	FOOD-TRIBE事業はBtoBtoCモデルの事業。 具体的なサービスは以下の2つ。 ①常連顧客と飲食店が相互にコミュニケーションを取れる環境 (FBグループ) を用意 ②常連顧客向けに新商品や特別感のある体験 (生産地ツアーや限定メニュー) などを販売するポータルサイトの作成
7	北海道科学大学	K A M (かむ)	Adaily	毎日の服のコーディネートを考えてくれるアプリによりカメラ・バーコード機能でアイテム (服・アクセサリ・靴・鞆) を登録 (色や形の認識・管理) し、「行先」「季節」「相手」などを選ぶと、最適なコーディネート提案するサービス。
8	旭川工業高等専門学校	北国のヒグマ軍団	ICT・IoTフュージョンによる農業支援サービス	ドローンやAI等のICTと農業用無線センサ等のIoTをフュージョンさせた農業支援サービス。
9	北海道科学大学	Wavidence (うえびでんす)	CheckWave	ラジオ放送をする各局はラジオ放送が正常に行われているという証拠を求めています。 このサービスは常時各局のラジオ放送を記録することで各局の正常なラジオ放送の証明を行うサービス。
10	釧路公立大学	Cyber Biomechanics (サイバーバイオメカニクス)	CPRフォームチェッカー	「CPRフォームチェッカー」は、センサーカメラによって CPR訓練時の身体全体をとらえて、身体の上肢から下肢までの関節 (肘、肩膝など) の変動を抽出して、正しいCPRの姿勢の正誤判定をするサービス。
11	北海道科学大学	YIDHLA (いどら)	Flyer	イベント情報など掲載されたチラシやフライヤーなどの紙媒体情報をスマホ等のアプリで検索・閲覧可能なサービス。

※代表者の所属